

保育園運営を支援するITシステムを開発

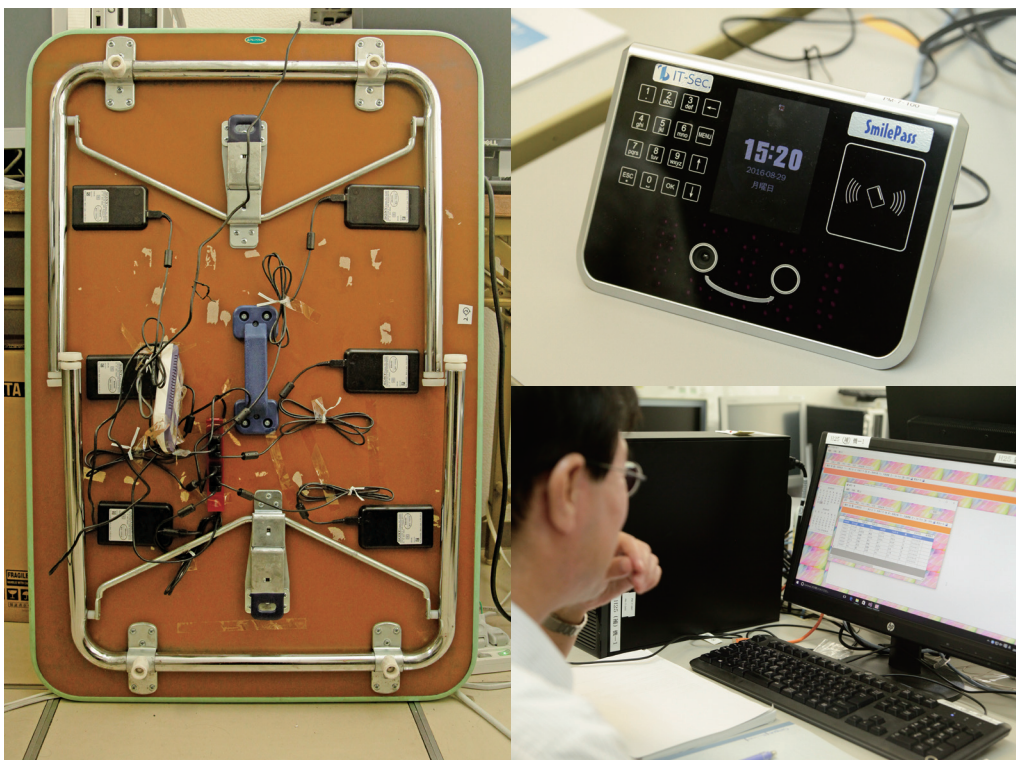
ITシステムと幼児教育という関連性の薄い2つの事業を行っているテクノシステムズ。保育園運営の現場を知り尽くしているからこそ実現できる、画期的な保育園支援システムを開発した。

幼児教育事業を始めたきっかけ

幼児教育について危機感を覚えたのは、今から55年前です。日本の犯罪件数の上昇、挨拶できない若者を見て、幼児教育改革の必要性を痛感いたしました。最初は個人として保育園を運営していたのですが、資金面などで個人経営の限界を感じ、株式会社として保育園を運営することにいたしました。現在当社は、ITシステム事業と幼児教育事業の2つの柱があります。保育園経営における問題を解消するシステム開発は当社の強みを最大限活かした事業であり、幼児教育現場の変革を促すためにも取り組まなければならない事業なのです。

顔認識やアレルギー対策機能を追加

今回の補助事業では、従来のシステムを踏襲しつつ、アレルギー対策機能、園児の登園・降園の顔認識機能、体調管理機能などを開発しました。特に幼児のアレルギー問題は、近年深刻になっています。給食を出す際のヒューマンエラーを軽減するため、ICチップを導入しました。アレルギー児の座席に除去食・代替食が配膳されなければ警告を出し、保育士がどの席にどのようなアレルギーを持った園児がいるかわかる。これにより給食時の誤食を防ぎます。ここで使用するセンサーの開発は苦労しましたが、アレルギー対策への応用という点で



▲アレルギー対策用に開発したセンサーで配膳ミスを防ぐ(写真左)／園児の登園・降園を管理する顔認識機能(写真右上)／システム検証作業中(写真右下)

試行錯誤しました。

補助金を活用したメリットは、通常の開発に比べ、開発に専念できる環境が作れたことです。システム開発はとにかく人件費がかかりますので、それらを支援していただける制度はとても助かります。

事業化後の成果と販路開拓

実は今回の補助事業で開発したシステムは、まだ完成形ではありません。園児の体温測定機能の精度アップなど更なる機能向上を目指した、最終バージョンに向けて試作を継続しています。ですので、現時点での販売実績はございません。もちろん当社の保育園では導入しているので、研究開発のためのフィードバックに活用しています。

現バージョンでの販売予定はなかったのですが、商社から問い合わせが来ており、現在販売について検討中です。当社の弱点は、営業部門の販売力の弱さにあるので、販売会社とタイアップすることで弱点を補えます。まずは現バージョンで150セットの販売

を目標とし、最終バージョン完成後はさらに大々的に売り込んでいきたいですね。

今後の展望について

まずは、保育園支援システム最終バージョンの完成が目標です。このシステムを多くの保育園に導入していただき、システム購入者を会員とした保育ライブラリを創設したいと構想を練っています。具体的には会員から保育の事例を提供していただき、その情報をもとに保育現場での問題解決に役立てていただくものです。

保育園経営におけるIT化の潜在的ニーズは高いと思うのですが、問題は保育現場の環境変化を望まない旧態依然とした体質です。この体質を当社としては変えていきたい。保育園経営を実際に行っている当社だからこそ、システム化に躊躇する保育園にも魅力的な製品開発ができると考えています。今後も保育園の現場から得た経験をシステム開発にフィードバックし、日本の幼児教育現場のIT化を促進する製品を開発していきたいです。



▲人材センター、センター長の三島氏と林 正幸社長

Company Profile

企業概要



▲本社外観

平成3年に設立された株式会社テクノシステムズ。各種ソフトウェアの開発業務を行っているが、「世の中にないものを作りたい」という創業精神の実現に向けて研究開発にも熱心に取り組んでいる。技術の進歩だけでなく、ものの考え方を含め世の中の役に立つ人材の育成を目指し、幼児教育事業にも力を入れている。神奈川県内で幼稚園・保育園を3園運営し、平成29年4月には沖縄で保育園を開設する。保育園運営において積極的にIT技術を導入し、そこでの問題をシステム開発にフィードバックさせるなど、経営の多角化によるシナジーを効果的に活用している。

代表者名 林 正幸

設立年月日 1991年1月10日

所在地 〒242-0008
神奈川県大和市
中央林間西3-9-13

従業員数 169名

資本金 91,248,000円

Tel. 046-278-3650

Fax. 046-278-3655

http://www.techno-sys.co.jp/

Examiner's Eye

調査員考察

ITシステムと幼児教育という性質の異なる事業を掛け合わせ、保育園のIT化を促進するシステムを開発した。当社の競争優位は、現場の生の声を収集できる保育現場を自社に持ち、課題を解決できる技術力にある。補助金によって開発環境を整え、開発と検証によって完成度を高めている。今後の事業展開が楽しみである。